

品名	型式名
GF-655SBB	GF-655SBB

このたびはガスふろがまをお買い上げいただきましてありがとうございます。

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、十分理解したうえで正しくご使用ください。

この取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。

内容をよくご確認ください。

この取扱説明書は、いつでもご覧になれる身近なところへ大切に保管してください。

取扱説明書を紛失された場合は、お買い上げの販売店または、弊社窓口へご連絡ください。

その際、機器本体の銘板をご覧のうえ、品名・製造年月をお知らせください。

もくじ	ページ
安全に正しくお使いいただくために……………	1
この取扱説明書の表示について……………	1
機器本体の表示について……………	1
必ずお守りください……………	2
各部の名称とはたらき……………	6
機器本体……………	6
操作パネル……………	6
ご利用前の準備……………	7
機器の準備……………	7
上がり湯やシャワーを使用するには……………	8
口火を点火する……………	8
上がり湯やシャワーでお湯を使用する……………	9
追いだき(おふろ沸かし)をするには……………	11
追いだき(おふろ沸かし)をする……………	11
冬期の凍結予防をするには……………	13
通水による方法……………	13
機器の水を抜く方法……………	13
再使用するとき……………	15
凍結したときは……………	15
点検のポイント・お手入れのしかた……………	16
点検のポイント(月1回程度)……………	16
お手入れのしかた(こまめに掃除)……………	16
定期点検について(有料)……………	17
乾電池の交換のしかた……………	18
「あんしん点検」のおすすめ……………	19
故障かな?と思ったら……………	20
次のことを調べましょう……………	20
こんな場合は故障ではありません……………	21
アラームについて……………	22
使用期間お知らせサインの解除方法……………	23
アフターサービスについて……………	24
仕様……………	25
保証書……………	裏表紙

お使いいただく前に

使いかた

長くお使いいただくために



安全に正しくお使いいただくために

■この取扱説明書の表示について

製品を正しくお使いいただくためや、お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するため、以下のような表示で注意を呼びかけています。

⚠ 危険

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。

⚠ 警告

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お願い

安全・快適に使用していただくために、よく理解していただきたい内容を示しています。

(→P.XX) 参照ページを示しています。

■機器本体の表示について

使い方

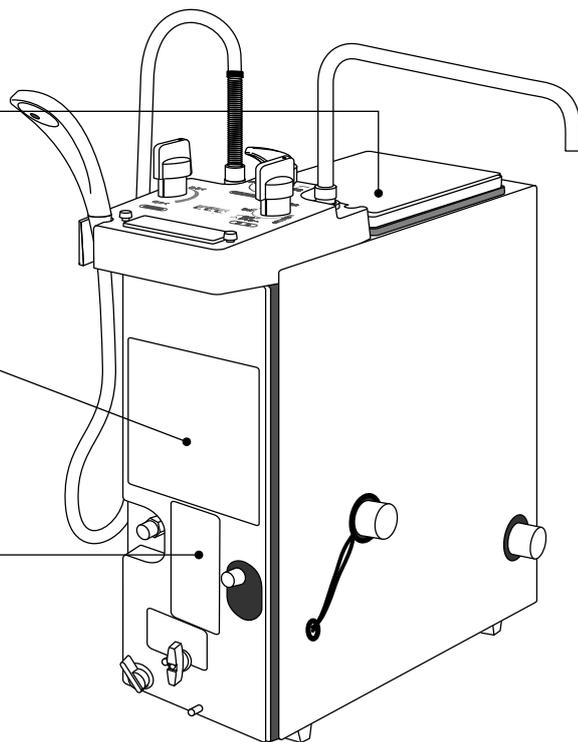
- 使い方・ランプ表示について・排水時のご注意を表示しています。

使用上のご注意

- 使用上のご注意・凍結予防のお願い・水抜きのかたについて表示しています。

銘板

- 品名・型式名・使用ガスの種類・製造年月・製造事業者等を表示しています。



◇ 冬期の入浴について ◇

・冬期など浴室・脱衣室と居室の温度差が大きいときは、急激な温度変化による身体への悪影響(ヒートショック)によって、特に高齢者は入浴時の事故につながるおそれがあります。入浴時に暖房機器で浴室と脱衣室を暖めるなどしてください。

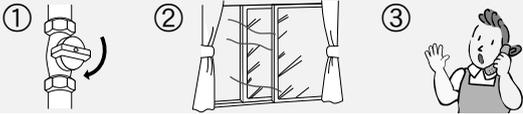
※浴室を暖めるには、シャワーでお湯を流したり、浴槽にふたをしなないでお湯はりする方法もあります。



⚠ 危険

ガス漏れに気づいたときは

- ①すぐに使用をやめて、ガス栓を閉じる。
また、メーターのガス栓も閉じる。
- ②窓や戸を開けガスを外に出す。
- ③お買い上げの販売店または、最寄りのガス事業者に連絡する。



必ず行う

すべての処置が終わるまでの間、絶対に

- ・火をつけない
 - ・電気器具のスイッチの入・切をしない
 - ・電源プラグの抜き差しをしない
 - ・周辺の電話を使用しない
- 炎や火花で引火し、爆発事故を起こすことがあります。



火気禁止

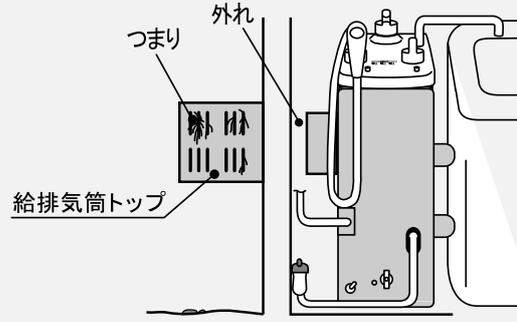


給排気筒トップの定期点検

- 給排気筒(トップ)が外れたり、変形・破損・詰まりなどがないか定期点検を行う。異常なまま使用すると、排気ガスが室内に漏れて一酸化炭素中毒の原因となり、危険です。



禁止



お使いいただく前に

⚠ 警告

屋外に設置しない(屋内設置形)

- 雨水の浸入などで、故障の原因になります。



禁止

機器設置および付帯工事

- 機器の設置・移動および付帯工事は、お買い上げの販売店、または弊社窓口へ依頼し、安全な位置に正しく設置する。設置工事に不備があると事故の原因になります。
- 機器が傾いた状態で使用すると、不完全燃焼をおこすおそれがあるため、機器が傾いている場合はお買い上げの販売店、または弊社窓口へ連絡する。



必ず行う

増改築などで給排気筒トップを屋内状態にしない

- 設置後、給排気筒トップを波板やビニール・塗装時に使用した養生シートなどで囲わない。不完全燃焼による一酸化炭素中毒や火災のおそれがあります。



禁止

このような場合は使用しない

- 増改築や家屋の修繕時(特に外壁の塗装)には、シートで給排気筒トップを覆うことがあります。そのような場合は機器を使用しない。不完全燃焼や一酸化炭素中毒の原因になります。



禁止

給排気筒トップの前方に物を置いたり洗濯物でおおわない

- 不完全燃焼や火災のおそれがあります。



禁止

機器本体やガスの接続部などに乗らない

- けがや機器の変形によるガス漏れ、不完全燃焼のおそれがあります。



禁止

ガス接続について

- この機器のガス管の接続はねじ接続です。工事には専門の資格・技術が必要です。機器の設置・移動・取外しおよび付帯工事の際には、必ずお買い上げの販売店、または弊社窓口へご相談ください。



必ず行う

改造・分解禁止

- 絶対に改造・分解は行わない。改造・分解は、一酸化炭素中毒などの思わぬ事故や火災・故障の原因となります。
- 安全装置(空だき安全装置等)の分解・取り外しは絶対に行わない。事故や火災・故障の原因となります。



分解禁止

浴室の排水口のお手入れ

- 浴室の排水口はこまめに掃除する。排水口が詰まると、機器内に水が浸入して、点火の際に炎があふれ火災や機器が損傷するおそれがあります。



必ず行う



必ずお守りください

警告

機器の銘板を確認

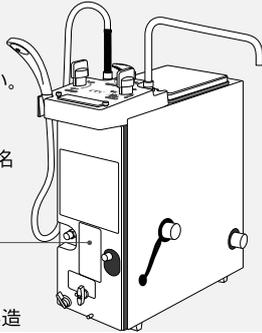
- 機器の銘板に表示してあるガス種(ガスグループ)で機器を使用してください。ガス種が一致しないと不完全燃焼による一酸化炭素中毒になったり、異常着火でやけどをしたり、機器が故障する場合があります。



- 転居時の注意は(→P.24)

(例:都市ガス12A・13A)
この部分を必ずご確認ください。

品名
型式名
製造年月を示しています
例)21・10→2021年10月の製造



火災予防のために必ず守ること

- 怠ると火災の原因になります。
 - ・火をつけたままの就寝や外出は絶対にしない。
 - ・機器および排気筒トップの周囲には紙や木材・洗濯物など燃えやすいものを置かない。
 - ・機器や排気筒トップの周囲ではガソリン・ベンジン・スプレーなど引火性危険物を使用しない。
- 機器や排気筒トップの周囲にスプレー缶、カセットこんろ用ボンベなどを置かない。熱でスプレー缶内の圧力が上がりスプレー缶が爆発するおそれがあります。
- 浴室内で可燃性スプレーを使用しない。浴室内に可燃性ガスが滞留すると、引火して爆発のおそれがあります。



使用するときには浴室の窓を閉める

- 給排気筒トップから出た排気ガスが、浴室の窓などから室内に入り、一酸化炭素中毒となるおそれがあります。



追いだきの消し忘れをしない

- お風呂を沸かしすぎた場合、浴室に入るときや浴槽のふたを開けるときは十分注意する。蒸気によりやけどのおそれがあります。また、浴槽のお湯が熱い間は絶対に手や体を入れない。やけどのおそれがあります。



お子様には十分な注意を

- 浴槽の湯(水)に潜ったり、浴室で遊ばせない。思わぬ事故につながる場合があります。特に小さなお子様のいるご家庭では注意してください。
- 浴槽のふたの上に乗ったり、手をついたりしない。思わぬ事故につながる場合があります。



シャワー・給湯使用時、入浴時の注意

- シャワーなどお湯を使う場合は、手のひらで温度を確認して湯温が安定してから使用する。次のような場合には一瞬熱いお湯が出るがあるので、出始めのお湯は体にかけない。
 - ・お湯を再使用するとき
 - ・高温のお湯を使った直後
 - ・給水圧が下がったとき
 - ・長時間の追いだき直後
 - ・お湯の量を急に少なくしたとき
 - ・夏期など水温の高い時期に少量のお湯を使おうとしたとき
 - ・機器が故障したとき
- シャワー・給湯使用中に、使用者以外はお湯の温度を変更しない。
- シャワーホースが折れ曲がるなどしたまま、シャワーを使用しない。
- お風呂を沸かした後は上下に温度差があるので、よくかきまぜて、手でお湯の温度を確認してから入浴する。
- 給湯使用時は上がり湯パイプに触らない。
- お風呂沸かし(沸かし直し)や追いだき時には、浴槽内の循環口付近は熱くなることもあるので触らない。
- 特に小さなお子様一人では、お湯を使わせない。



思わぬ事故や、やけどのおそれがあります

異常時の処置について

- 地震・火災などの緊急時の場合は、以下の手順に従う。
 - ① 給湯/シャワー切替つまみを「止」にする。
 - ② 点火つまみを「消火」にする。
 - ③ ガス栓・給水元栓を閉じる。



- 点火つまみや給湯/シャワー切替つまみを回しても点火しない場合や使用中で火が消える場合、または使用中に異常な燃焼や臭気・異常音・異常な温度を感じた場合。
 - ① ただちに使用を中止してガス栓を閉じる。
 - ② 「故障かな?と思ったら」(→P.21~23)に従って処置をする。
 上記の処置をしても直らない場合は、使用を中止してお買い上げの販売店、または弊社窓口へ連絡する。



必ずお守りください

警告

機器本体の高温部に触らない

- 使用中または使用後しばらくは、機器本体の高温部や給排気筒トップ付近を手で触らない。やけどのおそれがあります。



接触禁止

つまみはマークに合わせて使用する

- 点火つまみや給湯/シャワー切替つまみ、および能力切替つまみはマークの位置に合わせて使用する。マーク以外の位置で使用すると、熱いお湯が出たり異常着火により機器が変形し、排気が漏れる場合があります。変形した場合はすぐに使用を中止し、修理を依頼してください。そのまま使用すると一酸化炭素中毒の原因となります。



必ず行う

注意

用途についての注意

- 一般家庭での上り湯・シャワー等の給湯やお風呂沸かし以外の用途には使用しない。思わぬ事故につながる可能性があります。



禁止

ソーラー接続禁止

- ソーラー機器とは絶対に接続しない。ご希望の温度より高い温度のお湯が出てやけどをするおそれがあります。



禁止

給排気筒トップの上に乗ったり、指や棒をいれない

- 故障やけがの原因になります。小さなお子様のいるご家庭では、特に注意してください。



禁止

空だき防止

- 追いだき(お風呂沸かし)の際は、必ず浴槽の上部循環口より上に10cm以上湯(水)が入っていることを確かめる。水位が低いと、空だきによる機器の故障や浴槽の損傷、火災の原因となることがあります。



上部循環口より上に10cm以上お湯があることを **チェック!**

お願い

凍結についての注意

- 凍結のおそれがあるときは、「冬期の凍結予防をするには」(→P.13)に従って処置してください。
- 凍結したままでは絶対に使用しないでください。
- 凍結により機器や配管が損傷した場合の修理費は、保証期間内でも有料となります。
- 凍結したときは解凍するまで待ち、機器および配管から水漏れがないことを確認後、「機器の準備」(→P.7)の操作を行ってください。

出湯の注意

- 上り湯パイプにホースを接続して他所へ給湯しないでください。やけどや水漏れの原因になります。

ガス事故防止のために

- 使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中も正常に燃焼していることを点火確認ランプで確認してください。
- お出かけやおやすみになるときは、必ずガス栓を閉じてください。

消火時の注意

- 燃焼中に、ガス栓を操作しての消火はしないでください。

特監法対象機器

- この機器は、法的資格を有する者以外は設置または移設できません。また、機器に下のようなシールが貼付してあるか確認してください。シールが貼付されていない場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律第6条の規定による表示	
工事事業者の氏名 又は名称及び連絡先	TEL
監督者の氏名	
資格証の番号	
施工内容及び 施工年月日	年 月 日

市販の補助用具について

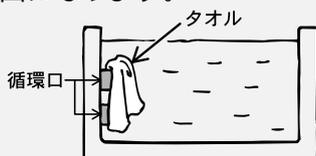
- 事故防止のため、この機器の純正部品以外は使用しないでください。
- 市販品の湯冷め防止器などは使用しないでください。

必ずお守りください

お願い

入浴時の注意

- 上部循環口の湯止めキャップを外して、お子様がオモチャ等を入れて遊ばないように注意してください。機器の故障の原因になります。
- 浴槽の循環口をタオルなどでふさがないでください。循環不良によりお風呂沸かしができなくなったり、機器の故障の原因になります。



機器から出た湯(水)は飲用・調理用に用いない

- 機器から出た湯(水)は有害ではありませんが、飲用または調理用に用いないでください。

長期間使用しないときは

- 「機器の水を抜く方法」(→P.13)に従って、水抜きを行ってください。水が長い間流れないと、一瞬濁ったお湯が出たり、冬期に凍結する場合があります。



日常の点検・お手入れ

- 安全にお使いいただくために、点検・お手入れは月1回程度必ず行ってください。(→P.18)
- 故障または破損したと思われるときは使用しないでください。このときお客様ご自身で修理せず、お買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。
- 浴槽が水中の微量の銅イオンと脂肪分(湯あか)により、青く着色することがあります。日々、浴槽や洗面台のお手入れをするとともに、万一着色した場合はクレンザーやアンモニア水(10%程度)等でふき取ってください。

地下水や井戸水の注意および温泉水使用不可

- この機器は上水道用です。地下水・井戸水(簡易水道を含む)を使用されると、水質によっては機器内の配管内部に異物が付着したり短期間で銅管を腐食させるなど、耐久性を損なう場合や、機器が正しく作動しないことがあります。地下水・井戸水(簡易水道を含む)を使用する場合は施工前に十分水質※を確認してください。ただし、地下水・井戸水(簡易水道を含む)には様々な成分が溶け込んでいるため、機器に対する影響は正確に判断できませんので、保証期間内でも有料修理となります。

※飲料水適合していることを原則として、硬度60mg/ℓ以下・pH7~8・遊離炭酸4mg/ℓ以下が望ましい。

- 温泉水は使用しないでください。

機器に水をかけない

- 機器にむやみに水をかけないでください。故障の原因になります。

入浴剤や洗剤についての注意

- 強酸・強アルカリの洗剤および、硫黄・酸を含んだ入浴剤は、機器の性能低下や熱交換器等が腐食する原因となりますので使用しないでください。入浴剤の含有成分等を確認め機器への悪影響がないものをご使用ください。
- 塩素系のカビ洗浄剤や酸性の浴室用洗剤・洗濯排水・消臭剤または塩などが機器本体やガス管にかかった場合は、すぐに水洗いをしてください。
- ふろ用洗浄剤または乳白色や白濁する入浴剤のなかには、沈殿物が熱交換器にたまって異音を発生したり、ふろ配管内にたまって動作不良を起こすものがあります。沈殿物を生じないものでも熱交換器内で沸騰を起こし異音を発生することがあります。このような入浴剤はご使用を避けてください。
- 薬草やゆず入り入浴剤の場合は、薬草などが機器内部に詰まることがありますので、ご使用を避けてください。



用途についての注意

- 本製品は家庭用です。業務用にお使いになると著しく寿命が短くなることがあります。

設置場所について

- 設置場所をお決めになるときは近隣の家が運転音(燃焼音など)で迷惑にならない場所に設置してください。(工事担当者にご相談ください)

排気ガス

- 増改築時には排気ガスが直接建物の外壁や窓・ガラス・網戸・アルミサッシなどに当たらないようにしてください。変色・破損・腐食の原因になります。
- 給排気筒トップの周囲には、給排気筒トップからの排気ガスによって加熱されて困るもの(植物・ペットなど)を置かないでください。

給排気について

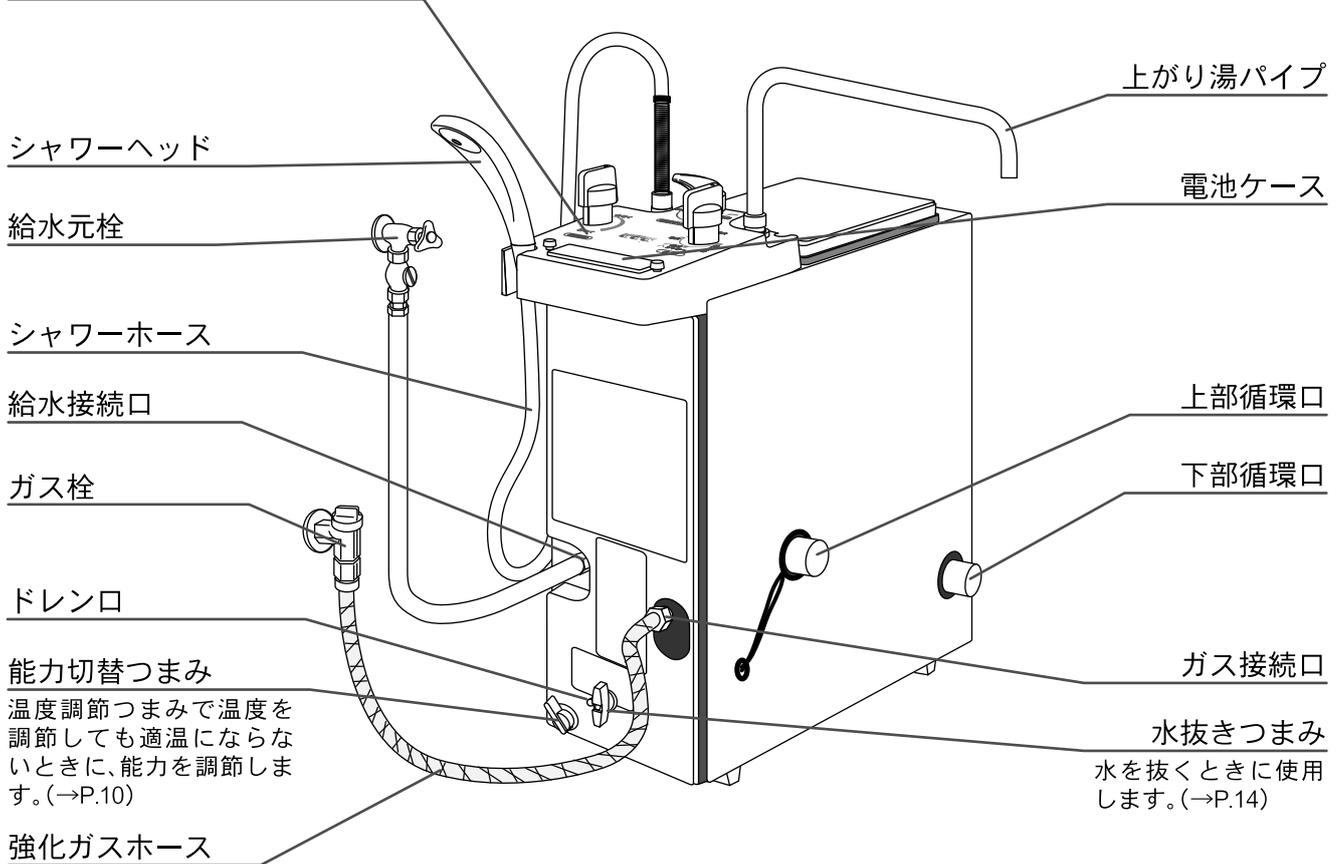
- 機器は給気・排気が十分できる場所に設置してください。給排気が不十分な場所に設置すると不完全燃焼の原因となります。

各部の名称とはたらき

■機器本体

この機器には右がまタイプのものや左がまタイプのものがあり、下図は右がまタイプです。左がまタイプは、循環口が下図とは逆の、向かって左側にあり、シャワーホース・上がり湯パイプ・能力切替つまみの位置も左右が逆になります。

操作パネル

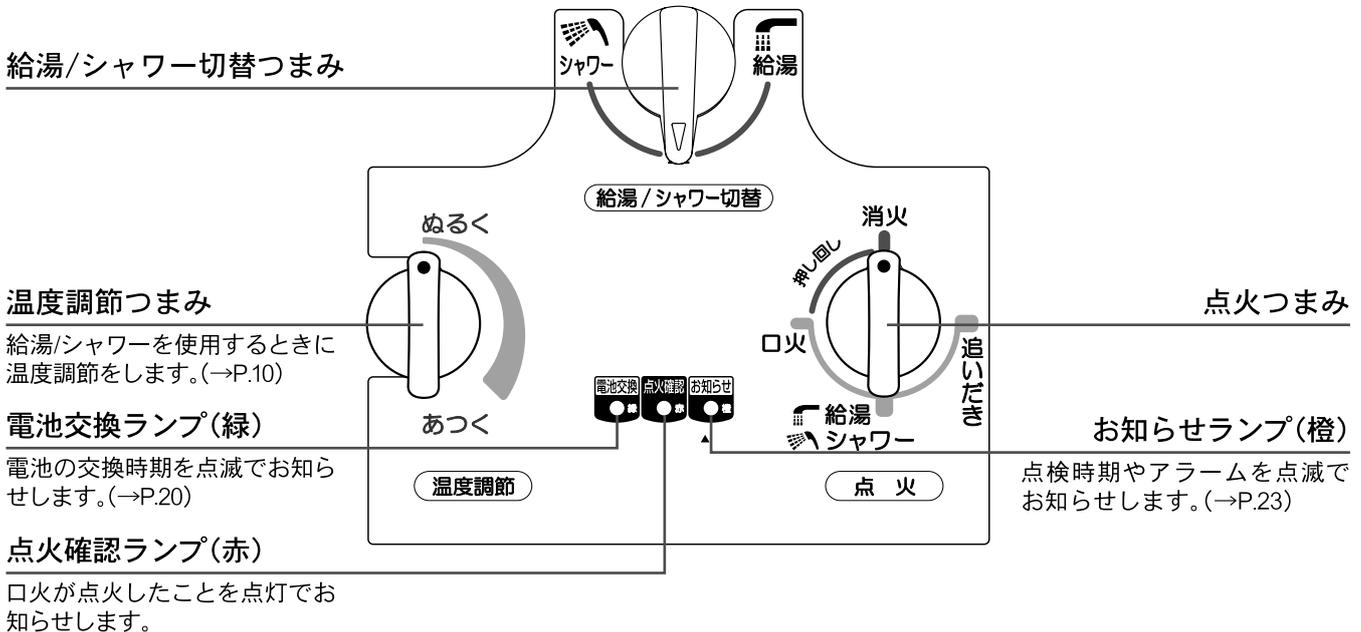


お使いいただく前に

■操作パネル

下図は右がまタイプです。

左がまタイプは、給湯/シャワー切替つまみの  と  の位置が逆になります。

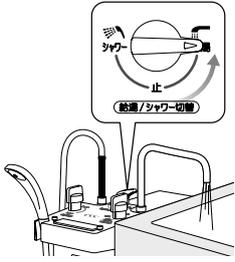
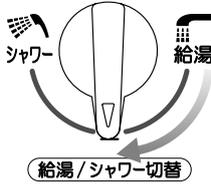


ご利用前の準備

初めてお使いになるときは、まず浴室にある機器の準備をします。

■機器の準備

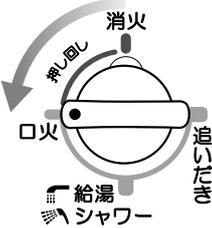
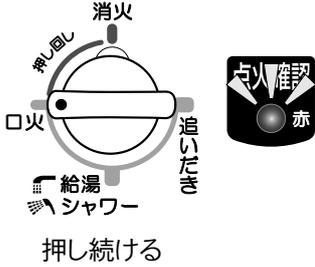
図は右がまタイプで説明します。

操 作	説 明
<p>1 機器や機器周辺の点検・確認を行います</p>	<p>点検のポイント(→P.18)をご覧ください。</p>
<p>2 給水元栓を全開にします</p> 	<p>機器の周辺にあります。</p>
<p>3 給湯/シャワー切替つまみを^{給湯}の位置に合わせます</p> 	
<p>4 上がり湯パイプから水が出ることを確認します 給湯/シャワー切替つまみを止の位置に合わせます</p> 	<p>水が出ることを確認したら止めます。</p>
<p>5 水抜きつまみが^{給湯}の位置に、点火つまみが消火の位置にあることを確認してガス栓を開けます</p> 	<p>水抜きつまみ・点火つまみの位置は必ず確認します。</p>

上がり湯やシャワーを使用するには

■口火を点火する

お湯を使用したり追いだき(お風呂沸かし)をする前に口火を点火します。

操 作	説 明
<p>1 点火つまみを押しながら口火の位置まで回します</p> 	<p>口火の位置で止まるまで押し回します。</p>
<p>2 点火確認ランプが点灯するまで点火つまみをそのまま押し続けます(約5秒間)</p> 	<p>口火着火ミスアラーム(お知らせランプ1秒おきに1回点滅)になった場合は、点火つまみを消火の位置に戻し、1の操作からやり直します。</p>
<p>3 点火つまみから手を離しても、点火確認ランプが点灯していることを確認します</p> 	<p>失火アラーム(お知らせランプ1秒おきに1回点滅)になった場合は、点火つまみを消火の位置に戻し、1の操作からやり直します。</p>

- ⚠注意** ●口火の点火を何度も繰り返しても火がつかない場合や、口火に火がついていない状態で**点火つまみ**を口火の位置にしたまま放置すると異常着火防止装置が作動し、電池交換・点火確認・お知らせランプが点滅して、口火の点火ができなくなります。
ランプが点滅した場合は**点火つまみ**を消火に戻し、ランプの点滅が消えるまで(約5分間)待ってから、再度口火の点火を行ってください。ランプの点滅中は口火の点火はできません。
- ✖** ●初めてお使いになるときや長時間使用していなかった場合などは、配管内に空気がたまっていることがあり、口火が点火しづらい場合があります。

お使いいただく前に

使いかた

上がり湯やシャワーを使用するには

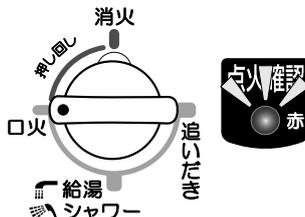
■上がり湯やシャワーでお湯を使用する

図は右がまタイプで説明します。

操 作	説 明
-----	-----

1

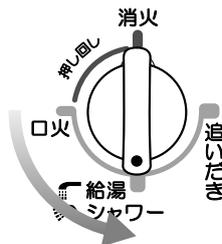
点火つまみが、口火の位置にあり、点火確認ランプが点灯していることを確認します



点火確認ランプが点灯していない場合は口火を点火する(→P.8)の操作を行ってください。

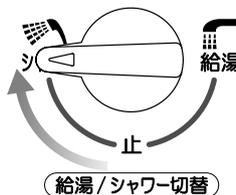
2

点火つまみを、給湯/シャワーの位置まで回します



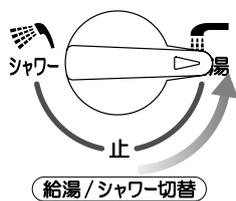
【シャワーを使う】

給湯/シャワー切替つまみを、シャワーの位置に合わせます
シャワーヘッドからお湯が出ます



給湯/シャワー切替つまみをシャワーの位置へ合わせたときに、給湯バーナーへの着火音を確認します。

【上り湯を使う・浴槽へお湯をためる】
給湯/シャワー切替つまみを、給湯の位置に合わせます
上がり湯パイプからお湯が出ます



※浴槽へお湯をためる場合は、浴槽の排水栓がしてあることを確認します。



長時間の追いただき直後は、シャワーから熱いお湯(80℃以上)が出るのを防ぐため、自動的にお湯が止まる場合があります

以下の方法で再使用できます

1 給湯/シャワー切替つまみを給湯の位置に合わせ、上がり湯パイプからお湯を出します。このとき温度調節つまみをぬるくの位置に合わせ、ぬるいお湯になるまで熱いお湯を流し出します。

⚠️注意 ●熱いお湯が出るため、体にかからないよう注意する。やけどのおそれがあります。

2 お湯がぬるくなったことを確認して、給湯/シャワーつまみをシャワーの位置に合わせます。温度調節つまみでシャワー温度をお好みの温度に調節してください。

🙏お願い ●通常のシャワー使用において、頻繁にお湯が止まるときは機器の故障の場合がありますので、使用をやめて点検を依頼してください。

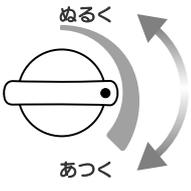
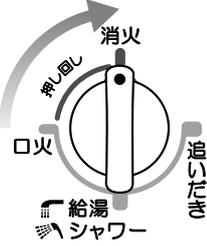
⚠️警告 ●上がり湯・シャワーを使うときは、必ず手でお湯の温度を確かめてから使用する。確認を怠るとやけどのおそれがあります。

●浴槽にお湯張りしているときは、お子様を浴室で遊ばせない。思わぬ事故につながる可能性があります。

●お湯を一度止めて再使用するときは、一瞬熱いお湯が出ることもあるので注意する。

●長時間の追いただき直後や口火を長時間点火しているときに給湯/シャワー切替つまみを開けると熱いお湯が出ることもあるので注意する。

上がり湯やシャワーを使用するには

操 作	説 明
<p>3 お湯の温度を温度調節つまみを回して調節します</p>  <p>温度調節つまみで調節しても適温にならない場合は 夏期水温が高いときや水圧が低い地域では、温度調節つまみをぬるくにしてもお湯が熱い場合があります。このようなときは能力切替つまみで湯温を調節します。</p> <p>能力<大>  → 能力<中>  → 能力<小> </p> <p>通常はこの位置で使用してください。</p> <p>温度調節つまみをぬるくにしても熱すぎるときに使用してください。</p> <p>注意 ●能力切替つまみは大・中または小にきちんと合わせて使用する。途中の位置で使用しないでください。</p>	<p>左回しでお湯がぬるくなります。 右回しでお湯があつくなります。</p>
<p>4 お湯を止めるときは給湯/シャワー切替つまみを止に合わせます 給湯バーナーが消火します</p> 	
<p>5 すぐに使用しないときは点火つまみを口火の位置まで回し、口火から押しながら消火の位置まで戻します</p> 	<p>口火を消すことでガスの無駄が少なくなり、また電池の寿命も長くなります。</p>

使
い
か
た

- 警告** ●お湯を使用している本人以外はお湯の温度を変えない。また、体にお湯を浴びたままお湯の温度を変えない。お湯の温度を変えたときは必ず手でお湯の温度を確認してから使用する。
- 使用後、または就寝や外出するときは、必ず**点火つまみ**を消火の位置に戻す。怠ると火災の原因となります。
- 注意** ●浴槽に湯(水)をためることをせずに、上がり湯・シャワーのみを頻繁に使用するときは、機器が破損する原因になるので、浴槽の下部循環口より上に湯(水)を入れた状態で使用する。
- ご注意ください**
 - 夏期など水温が高くなると、低い温度に設定しても、熱い湯が出ることがあります。

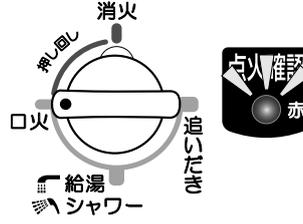
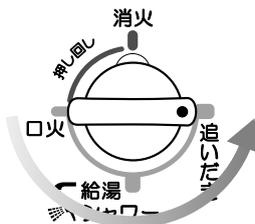
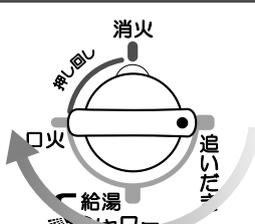
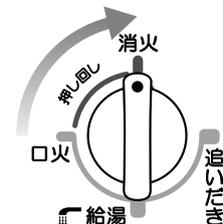
追いだき(お風呂沸かし)をするには

追いだき(お風呂沸かし)をするときは、毎回以下のことを確認してください。

- 上部循環口より10cm以上お湯(水)が入っていることを確認。

浴槽にお湯張りをしたあとや入浴時にお風呂の湯温がぬるい場合は追いだきをしてください。

■追いだき(お風呂沸かし)をする

	操 作	説 明
<p>準備</p>	 <p>10cm以上 上部循環口</p> <p>上部循環口より上に10cm以上お湯があることを チェック!</p> <p>入浴前に沸かすときは浴槽のふたも忘れずに!</p>	<p>上部循環口より10cm以上お湯(水)が入っていることを確認します。入浴前に沸かす場合は、浴槽のふたがしてあることも確認します。</p>
<p>1</p>	<p>点火つまみが、口火の位置にあり、点火確認ランプが点灯していることを確認します</p>  <p>消火 口火 給湯 シャワー 追いだき 点火確認 赤</p>	<p>点火確認ランプが点灯していない場合は口火を点火する(→P.8)の操作を行ってください。</p>
<p>2</p>	<p>点火つまみを 追いだき の位置に合わせます</p>  <p>消火 口火 給湯 シャワー 追いだき</p>	<p>追いだきバーナーに着火し、お風呂を沸かします。 追いだきバーナーへの着火音を確認します。</p>
<p>3</p>	<p>お風呂が沸き上がったら点火つまみを口火の位置まで戻します 追いだきバーナーが消火します</p>  <p>消火 口火 給湯 シャワー 追いだき</p>	
<p>4</p>	<p>お風呂が沸き上がった後、すぐに追いだきをする必要がない場合は点火つまみを押しながら消火の位置まで戻します</p>  <p>消火 口火 給湯 シャワー 追いだき</p>	<p>口火を消すことでガスの無駄が少なくなり、また電池の寿命も長くなります。</p>

- ⚠警告** ●入浴時には十分かきまぜて、必ず手で湯温を確かめてから入浴する。追いだき中や追いだき後は、浴槽の湯の上の方は熱くなっているため、やけどのおそれがあります。
- 使用後、または就寝や外出するときは、必ず**点火つまみ**を**消火**の位置に戻す。怠ると火災の原因となります。
 - 長時間追いだき(お風呂沸かし)のままにしておくと、追いだき開始後約80分でふろ消し忘れタイマーがはたらき、自動的に消火します。(点火確認・お知らせランプが1秒おきに連続4回点滅)このような場合は、浴槽の湯が非常に熱くなっている可能性があるため、必ず湯温を確かめてから入浴する。

追いだき(おふろ沸かし)をするには

-  **注意** ●追いだき(おふろ沸かし)の際は、必ず浴槽の上部循環口より上に10cm以上湯(水)が入っていることを確かめる。水位が低いと、空だきによる機器の故障や浴槽の破損、火災などのおそれがあります。
-  **お願い** ●追いだきが終了した後すぐに追いだきを使用しないときは、必ず**点火つまみ**を**消火**の位置に戻してください。
-  ●おふろ沸かしは水から沸かすより、お湯張りをしてから追いだきを行った方が、時間がかからず経済的です。
※浴槽が空の場合は、下部循環口より上まで水を張ってから上り湯でお湯を足し、追いだき(おふろ沸かし)を行ってください。

冬期の凍結予防をするには



注意

- 暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがあります。以下をお読みいただき、必要な処置をしてください。
- 凍結により機器や配管が損傷した場合の修理費は、保証期間内でも有料となります。

冬期には機器や配管内の水が凍結して、機器が破損することがあります。凍結のおそれがあるときや長期間使用しないときは以下のいずれかの方法で凍結を予防してください。

準備

浴槽の排水栓を抜き、浴槽内の湯(水)を完全に排水します
通水による方法・機器の水を抜く方法どちらを行う場合でも、最初に行います。



ご注意ください

- 浴槽内に湯(水)が残っていると凍結することがあります。

■通水による方法

この方法は本体だけでなく、給水配管、バルブ類の凍結も予防できます。

操 作	説 明
1 点火つまみが消火の位置にあることを確認します	必ず確認します。
2 ガス栓を閉じます	
3 給湯/シャワー切替つまみを給湯の位置に合わせます	
4 上がり湯パイプから1分間に約400cc程度の水を浴槽に流し続けます 流量は給水元栓で調節します	流量が不安定なことがありますので、念のため約30分後に流量を確認してください。

お願い

- 通水による方法で凍結予防をしているときは、家の人に凍結予防の為に水を流していることを、お知らせください。水を止めると凍結します。

■機器の水を抜く方法

長期間使用しないときは機器の水を抜く方法で凍結を予防してください。図は右がまタイプで説明します。



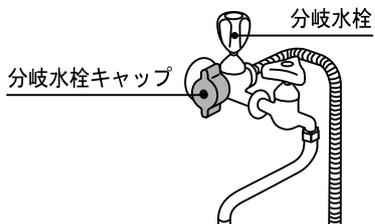
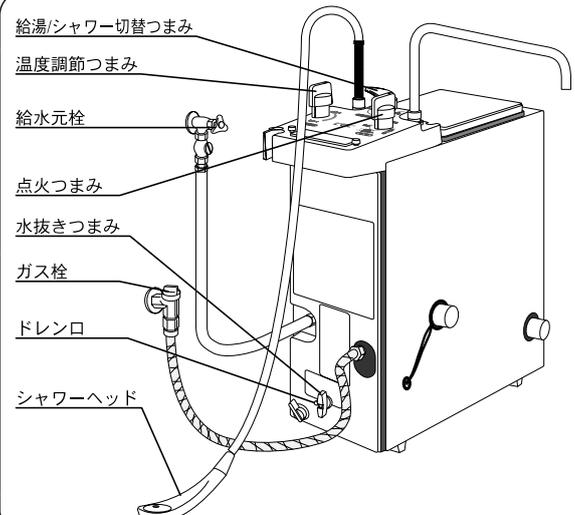
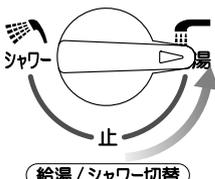
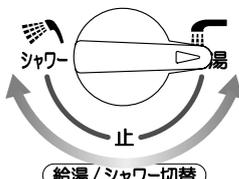
注意

- 使用後すぐに水抜きをしない。機器やお湯が高温になっていることがありますので、やけどのおそれがあります。必ず冷えてから行ってください。

操 作	説 明
1 点火つまみを消火の位置にし、ガス栓を閉じます	必ず行います。

次ページへ

冬期の凍結予防をするには

操 作	説 明
<p>2 給水元栓を閉じます</p> 	<p>寒い地方で下図のような分岐水栓をご使用の場合は、分岐水栓を閉じ、分岐水栓キャップを外してください。</p>  <p>分岐水栓 分岐水栓キャップ</p>
<p>3 温度調節つまみをぬるくの方へ回します</p>  <p>ぬるく あつく</p>	
<p>4 シャワーヘッドを洗い場に置きます</p>	
<p>5 給湯/シャワー切替つまみを 給湯 の位置に合わせます</p>  <p>給湯 シャワー 止 給湯/シャワー切替</p>	
<p>6 水抜きつまみを左へいっぱいまで回し、ドレン口から水が出たことを確認します</p>  <p>水抜き 給湯 シャワー いっぱいまで回す 水抜き</p>	
<p>7 給湯/シャワー切替つまみを一度 シャワー の位置に合わせ、再度 給湯 の位置に合わせる操作を2～3回繰り返します 最後は 給湯 の位置に合わせておきます</p>  <p>シャワー 給湯 止 給湯/シャワー切替</p>	

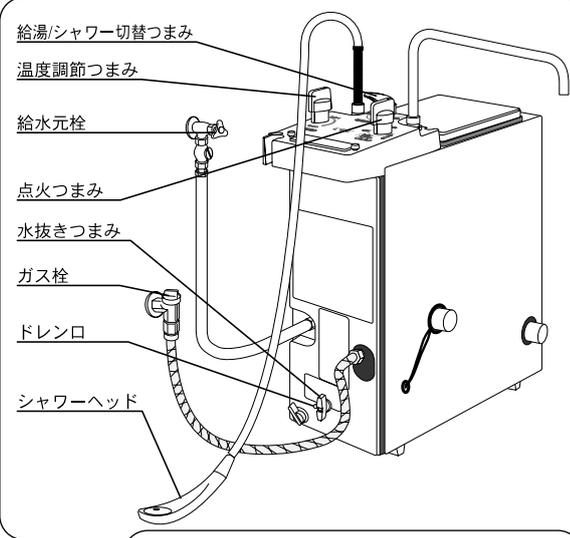
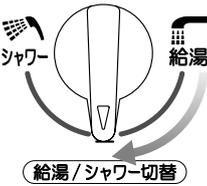
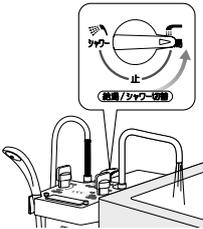
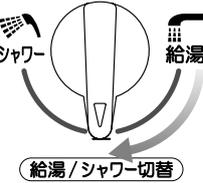
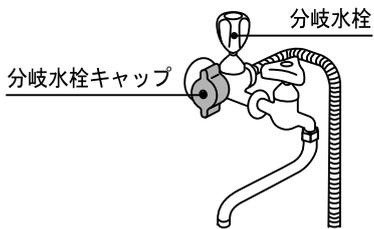
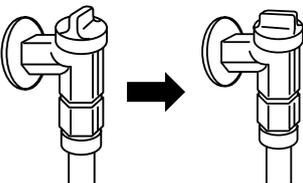
お願い ●機器内の凍結は予防できても給水配管の凍結予防はできませんので、必ず保温材を巻くなどの処置をしてください。

長くお使いいただくために

冬期の凍結予防をするには

水抜き後、再度使用するときは次の操作をしてください。
図は右がタイプで説明します。

■再使用するとき

操 作	説 明	
<p>1 水抜きつまみを給湯シャワーの位置に合わせます</p> 		
<p>2 給湯/シャワー切替つまみを止の位置に合わせます</p> 		
<p>3 給水元栓を開けます</p> 		
<p>4 給湯/シャワー切替つまみを給湯の位置に合わせ、上がり湯パイプから水が出ることを確認します</p>  <p>給湯/シャワー切替つまみを止の位置に合わせ、水漏れがないことを確認します</p> 		<p>寒い地方で下図のような分岐水栓をご使用の場合は、分岐水栓キャップをはめ、分岐水栓を開けてください。</p> 
<p>5 ガス栓を開けます</p> 		

■凍結したときは

□凍結したときはガス栓・給水元栓を閉じ、使用しないでください。凍結したままで使用しますと、機器や配管が破損することがあります。

点火つまみを消火にし、給湯/シャワー切替つまみを給湯の位置に合わせたとき、上がり湯パイプから水が出て、止の位置に合わせたとき水漏れがなければ使用できます。

□解凍するまで待つて、水漏れのないことを確認のうえご使用ください。

■点検のポイント(月1回程度)

次のポイントで点検してください。

- 1 機器および配管から水漏れはありませんか？
水漏れは、機器の故障だけでなくお隣や階下の方にも多大な迷惑をかけます。
- 2 機器および配管からガスの臭いがしませんか？
- 3 運転中に機器から異常音が聞こえませんか？
- 4 シャワーおよび上がり湯使用中に、機器とシャワーホース / 上がり湯パイプ接続ねじ部より湯(水)が漏れていませんか？
漏れが止まるまで接続ねじ部を手で締め込んでください。
- 5 機器の外観に異常は見られませんか？
機器の変形・穴あき・すき間等の部品破損があるときは、使用を中止しガス栓を閉めて、お買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。
- 6 機器のまわり、および給排気筒トップのそばに燃えやすいものはありませんか？
また、整然とされていますか？
機器のまわりが雑然としていると、機器の内部に害虫(ゴキブリなど)が侵入したり、くもの巣がはったりして、機器の故障などの原因になる場合があります。
- 7 給排気筒トップに損傷や詰まり・外れているところはありませんか？
- 8 強化ガスホースが傷んでいませんか？
ときどき点検して、早めに交換を依頼してください。
- 9 浴室の排水口が詰まっていますか？
排水口が詰まると、機器内に水が浸入して、機器より炎があふれ火災や機器が損傷するおそれがあります。
また、機器内に一定以上の水が浸入すると、安全のため口火が点火しません。
機器が冠水した場合、点検(保証期間内でも有料)が必要となります。お買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。
- 10 積雪や屋根から落ちた雪により、給排気筒トップがふさがれていませんか？
給排気筒トップがふさがれていると、機器が不完全燃焼することがあります。
積雪時には給排気筒トップの点検、除雪を行ってください。屋根から落ちた雪が給排気筒トップをふさぐおそれがあるときはお買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。
- 11 機器は水平に設置されていますか？
機器が傾いた状態で使用すると不完全燃焼をおこすおそれがあるため、機器が傾いている場合はお買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。

! ご注意ください

- 機器本体のお手入れは、ガス栓を閉じ、機器が冷えてから行ってください。
また、けがなどしないよう、指先には十分注意してください。

■お手入れのしかた(こまめに掃除)

機器本体のお手入れ



- 汚れは、湿ったやわらかい布で軽くふき取ってください。
- シンナー・ベンジンなどは使わないでください。変色・変形する場合があります。
- 機器の操作パネル(特に電池ケース部)には、できるだけ湯・水・洗浄剤等がかからないようにしてください。

△ 注意 ● フロントカバーを外したり、分解したりしない。

- 故障または破損したと思われるときは使用しない。このときお客様ご自身で修理なさらず、お買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。



● お願い

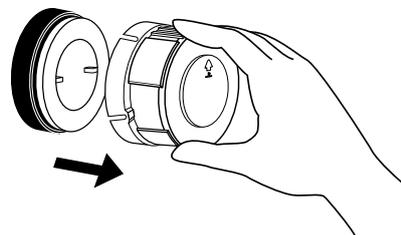
- 洗剤およびシンナー・ベンジンなどではふかないでください。
- 機器にキズがつきますので、たわしやブラシなど固いものでこすらないでください。
- 機器本体はステンレスですが、錆びることがあります。ヘアピンや金属片を置かないでください。

点検のポイント・お手入れのしかた

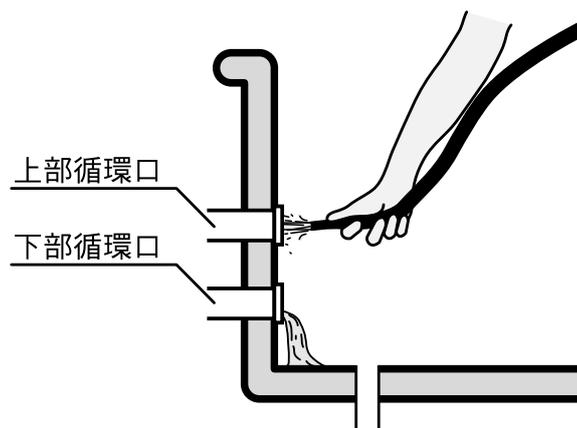
ふろがま内のお手入れ

ふろがま内部に湯あかなどがたまってくると、沸き上がり時間が長くなったり、沸き上がる前に消火することがあります。こまめにふろがま内部の洗浄を行ってください。

- 1 上部循環口の湯止めキャップを外します

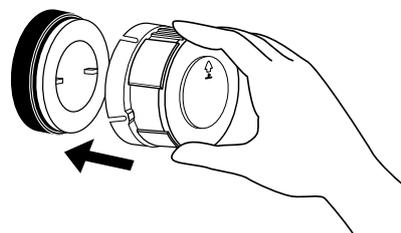


- 2 循環口へ水道からのホースを近づけ、先をつまんで勢いよく水を出します



- 3 上部・下部循環口を交互に数回水洗いします

- 4 上部循環口の湯止めキャップを元通りに取り付けます



浴室内のお手入れ

浴室の排水口をよく掃除して、排水が十分行えるようにし、ふろがまの底部が水につからないようにしてください。

- 浴室に洗濯機等の排水をされる場合は、排水が直接ふろがまにかからないように注意してください。
- 浴室内は湿気が多いため、機器を使用していないときは浴室の窓などを開け、換気をよくしてください。

■定期点検について(有料)

機器を安心してより長くご使用いただくために、1年に1回程度の定期的な点検を受けることをおすすめします。点検はお買い上げの販売店、または弊社窓口へご相談ください。

また、日常の点検およびお手入れについては「点検のポイント・お手入れのしかた」(→P.18~20)をご覧ください。

点検のポイント・お手入れのしかた

■乾電池の交換のしかた

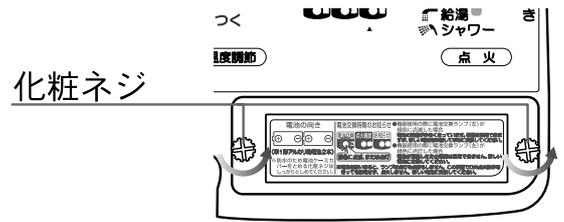
電池交換ランプが点滅したり、全く点灯しない場合は、電池の寿命が考えられます。以下の要領で、乾電池の交換を行ってください。

確認

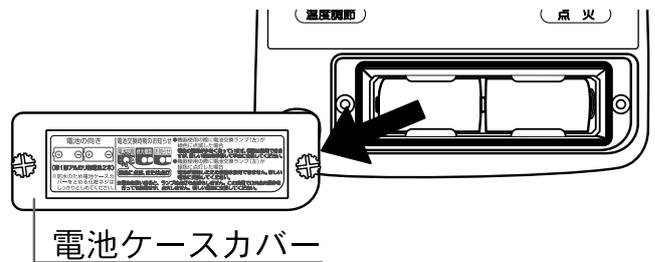
機器使用時にランプが図のような場合は、電池の交換が必要です



1 化粧ネジをゆるめます

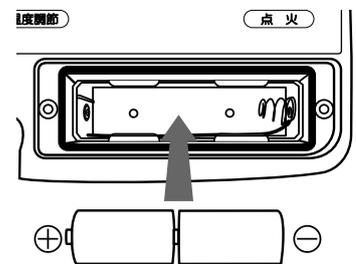


2 電池ケースカバーを外します



3 2個とも新しい単一形(1.5V)アルカリ乾電池に交換します

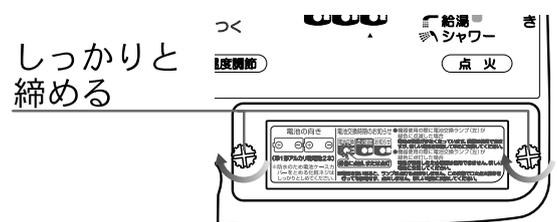
2個とも同じ種類のアルカリ乾電池を使用し、**+**と**-**を間違えずに入れてください



4 乾電池交換後、電池ケースカバーを取り付け、化粧ネジをしっかりと締めます

⚠注意

化粧ネジをしっかりと締めないと機器内に水が浸入して、機器の故障の原因になります。化粧ネジは確実に締めてください。



お願い

- 乾電池は破裂・液漏れを起こすことがあります。下記の点に注意してお取扱いください。
 - ・2個とも同じ種類の新しいアルカリ乾電池を使用してください。
 - ・使用済みの乾電池は、分解・加熱・火の中に投げ込んだりしないでください。
 - ・長期不在等長く機器を使用しない場合は、乾電池を機器から抜いてください。
- 乾電池の寿命は通常で約1年くらいを目安としてください。付属の乾電池は工場出荷時のものですので、多少早めに交換が必要な場合があります。

長くお使いいただくために

「あんしん点検」のおすすめ

本製品は、ご使用開始から10年前後をめぐりに「あんしん点検」(有料・任意点検)をお受けいただくことをおすすめいたします。

■あんしん点検について

【点検の内容について】

- ・あんしん点検は、お客さまの任意で受けていただく有料の点検です。
- ・あんしん点検は、点検時点での製品の安全を確認するためのもので、製品の延命や性能の保証を延長するものではありません。
- ・点検の実施は、全国の弊社サービス店が行います。
- ・点検の内容および点検基準は、当社で設定しています。
- ・点検の結果は、作業終了後その場で「点検作業票」にてお知らせします。点検の結果、不適合となった場合には、可能な限りの選択肢をご提案させていただきます。この場合、整備(修理・部品の交換など)を行って使用を継続するかどうかはお客様の判断となります。
(製品の修理に必要な補修用性能部品の保有期間は、**補修用性能部品の保有期間について**(→P.24)をご覧ください)

【点検の料金について】

- ・点検は有料で実施させていただきます。また点検の結果、整備を実施する場合は、別途整備費用が発生いたします。
- ・なお、あんしん点検の内容や料金などにつきましては、下記のアドレスからご覧いただけます。
<https://www.purpose.co.jp/>
- ・インターネットでご確認できない場合は、弊社窓口「点検受付センター」にご連絡ください。

【点検の時期について】

- ・本製品は、設計上の標準使用期間^{*}を10年と算定しておりますので、ご使用開始から10年前後をめぐりに「あんしん点検」をお受けいただくことをおすすめいたします。
- ※設計上の標準使用期間とは、標準的な使用条件の下で、適切な取り扱いで使用し、適切な維持管理が行われた場合に、安全上支障なく使用することができる標準的な期間として設計上設定される期間になります。「無料修理保証期間」とは異なりますのでご注意ください(無料修理保証期間は保証書を参照願います)。

【点検のお申し込みについて】

- ・あんしん点検のお申し込み・お問い合わせは、点検受付センターまでご連絡ください。
フリーコール: 0120-323-884 受付時間/ 年中無休 9:00~17:00

■お客様情報について

【所有者登録について】

- ・製品を安全にお使いいただくために所有者の登録をお願いしております。同梱の所有者票を返信もしくは、インターネットにてご登録ください。
- ※インターネットから登録される場合は、<https://user.purpose.jp/takagi/pcIndex.jsp>もしくは所有者票のQRコードを読み取りご登録ください。
- ※ご登録いただいたお客様情報は、個人情報保護法および弊社規定により適切な安全対策のもとに管理し、任意点検(あんしん点検)やリコール等の製品安全に関するお知らせをする場合以外には使用いたしません。

*「QRコード」は株式会社デンソーウェブの登録商標です。

故障かな?と思ったら

■次のことを調べましょう

こんなとき

ここを調べてください

口火が点火しない
使用中に消火した

ガス栓が全開になっていますか (→P.7)
口火が点火しない場合、**点火つまみ**を十分下まで押し回していますか (→P.8)
浴室の排水口の詰まり等が原因で、機器が冠水したおそれはありませんか
機器内に一定以上の水が浸入すると安全のため、口火が点火しません。お買い上げの販売店、または弊社窓口へお問い合わせください。
一定時間以上**点火つまみ**を**口火・給湯・シャワー**の位置で機器を使用していませんか 追いだき
この機器には消し忘れによる事故防止のため一定時間を過ぎると自動的に消火するタイマー機能が付いています。
ガスメーターの安全装置(マイコンメーター)のランプが点灯していませんか
マイコンメーターを復帰させてください。
わからないときは、ガス事業所(供給業者)へご相談ください。
プロパンガス(LPG)がなくなっていますか
プロパンガス(LPG)の補充をガス事業者(供給業者)へ依頼してください。

点火つまみから手を離すと消火する

点火確認ランプが点灯するまで押し続けていますか (→P.8)
点火つまみを十分下まで押し回していますか (→P.8)

上がり湯パイプ・シャワーヘッドからお湯が出ない
(給湯バーナーに着火しない)

ガス栓が全開になっていますか (→P.7)
点火確認ランプが点灯していますか (→P.9)
点火つまみを**給湯・シャワー**まで回していますか (→P.9)
給水元栓が全開になっていますか (→P.7)
給湯 / シャワー切替つまみを**給湯**または**シャワー**の位置に合わせてありますか (→P.9)

高温のお湯が出ない
低温のお湯が出ない

ガス栓が全開になっていますか (→P.7)
点火確認ランプが点灯していますか (→P.9)
温度調節つまみの位置は適切ですか (→P.10)
能力切替つまみの位置は適切ですか (→P.10)

おふろが沸かない
(追いだきバーナーに着火しない)

ガス栓が全開になっていますか (→P.7)
点火確認ランプが点灯していますか (→P.11)
点火つまみを**追いだき**まで回していますか (→P.11)

かま鳴りがする
(ポコン・ポコンと音がして、循環口より大きな気泡が出る)

ふろがま全体が傾いていませんか
ふろがまの循環パイプと浴槽側の循環口がずれていませんか
お買い上げの販売店、または弊社窓口へご相談ください。

それでもわからないときはアフターサービスをお申し付けください

長くお使いいただくために

※水圧が極端に低い場合では、**能力切替つまみ**を**小**・**温度調節つまみ**を**ぬるく**にしても熱いお湯が出ることがあります。このような場合は水道工事店へ給水設備の改善を依頼してください。

故障かな?と思ったら

■こんな場合は故障ではありません

現象	点検項目
夏期水温が高いとき低温のお湯が出ない	夏期など、水温が高いとき低温のお湯を少量得ようとすると、湯温が高くなります。
お湯が白く濁って見える	これは水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、大気圧まで急速に減圧されることで細かい泡となって出てくる現象です。ビール・サイダー等の泡と似た現象であり、汚濁とは違い全く無害なものです。
点火または消火後機器からポコンと音がする	機器の側板・天板などが熱によって膨張・収縮するとおこる音です。
お風呂を沸かしているとき、機器よりジュ・ジュと音がする	浴槽の水が冷たい場合、機器内の結露水が遮熱板に落下して蒸発するときの音で機器の故障・異常ではありません。
上がり湯やシャワーを使用すると、機器より異音がする	ふろ熱交換器があたたまって発生する音で、機器の故障・異常ではありません。上がり湯やシャワーを使用するときは、浴槽の下部循環口より上に湯(水)を必ず入れてください。
寒い日に給排気筒トップから湯気が出る	外気温が低いときには排気ガスの水蒸気が白く見える現象で、故障ではありません。
長期間使用していなかった後、口火になかなか点火しない	長期間使用しなかったために強化ガスホース内に空気が入り込んでいるためです。点火操作を繰り返してください。 それでも点火しないときは、ガス事業者(供給業者)へ依頼してください。
浴槽が青く見える	湯アカが残っていると、水中の微量の銅イオンと化合して青く変色することがあります。
口火燃焼しているときやふろ沸かし中に、上がり湯パイプ・シャワーヘッドから水が出る	機器内部の膨張した水が出るため、水漏れではありません。
シャワーのお湯が止まる	長時間追いだきした直後は、シャワーから熱いお湯(80℃以上)が出るのを防ぐため、出湯を自動的に停止することがあります。(→P.9)

以上のことをお調べの上、なお異常のあるときは、お買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。

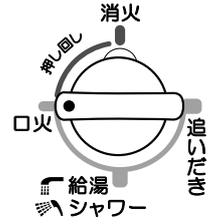
故障かな?と思ったら

■アラームについて

機器に不具合が生じると機器上面の電池交換・点火確認・お知らせのランプが点滅してお知らせします。

口火点火操作を行い、**点火つまみが口火の位置で点滅するランプ**を下記で確認していただき、適切な処置を行ってください。

※確認操作時、口火に点火していない状態で点火つまみを口火の位置に放置しておくとも異常着火防止装置が作動します。



ランプ			原因	処置
電池交換	点火確認	お知らせ		
消灯	消灯	1回ずつ点滅	・ガス栓が全開になっていない ・口火点火ミス ・口火が消えたため	ガス栓を全開にする。(→P.7) 点火つまみを消火の位置に戻し、再度口火を点火する。(→P.8) 口火の点火操作を繰り返してもアラームになる場合は修理を依頼する。
消灯	消灯	2回ずつ点滅	・空だきしたため ・機器の故障	空だきした場合は、点火つまみを消火の位置に戻し、浴槽の上部循環口より10cm以上水を入れ、自然に冷えてから再度追っただきをする。(→P.11) 処置を行っても機器が使用できない場合は、修理を依頼する。
消灯	3回ずつ点滅	3回ずつ点滅	製品が冠水したため	修理を依頼する。
消灯	4回ずつ点滅	4回ずつ点滅	・給湯を約60分連続使用したため ・追っただきを約80分間連続使用したため ・口火の状態約90分放置したため	点火つまみを消火の位置に戻し、再度口火を点火する。(→P.8)
消灯	消灯	5回ずつ点滅	機器の故障	修理を依頼する。
消灯	消灯	6回ずつ点滅		
消灯 または 連続点滅	点灯	連続点滅	使用期間お知らせサイン (故障ではありません)	一般的な使用で10年相当使用されたため、 使用期間お知らせサイン が表示されました。使用できますが、安全のためあんしん点検(有料)を受けることをおすすめします。(→P.19) 解除の方法は使用期間お知らせサインの解除方法をご覧ください。(→P.23) ※電池交換ランプが点滅しているときは、電池が消耗していますので電池の交換も行ってください。
連続点滅	連続点滅	連続点滅	・口火点火を繰り返し失敗したため ・口火点火に失敗したまま点火つまみを口火の位置に放置したため	点火つまみを消火の位置に戻し、 ランプの点滅が消えるまで(約5分間)待つ てから、再度口火を点火する。(下記 異常着火防止装置(点火ロック) 参照) ランプが点滅している間は、機器の使用はできません。 頻りにアラームになる場合は、修理を依頼する。
連続点滅	点灯	消灯	電池が消耗している	電池を新しいものに交換する。(→P.18)
点灯	消灯	消灯	電池切れ (機器の使用はできません)	電池を新しいものに交換する。(→P.18)

冠水検知装置

この製品は機器内に一定以上の水が浸入すると安全のため、口火が点火しません。口火が点火しない場合は、浴室の排水口の詰まり等が原因で、機器が冠水したおそれがあります。

※機器が冠水した場合、点検(有料)が必要となります。お買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。

排水口が少しでも詰まっていたら掃除してください。



消し忘れタイマー

この製品は消し忘れによる事故防止のため、一定時間経過すると自動的に消火する機能が付いています。点火後、給湯：約60分連続/ふろ：約80分連続/口火：約90分連続の使用を超えると消火します。

異常着火防止装置(点火ロック)

口火点火を何度も繰り返しても火がつかない場合や、口火点火に失敗した状態で点火つまみを口火の位置にしたまま放置したときは異常着火防止装置が作動し、口火点火ができなくなります。

ランプが点滅した場合は**点火つまみを消火**に戻し、ランプの点滅が消えるまで(約5分間)待つてから、再度口火点火を行ってください。

長くお使いいただくために

故障かな?と思ったら

■使用期間お知らせサインの解除方法

使用お知らせサインが点灯したときは以下の方法により、解除することができます。
機器を安全にご使用いただくため、あんしん点検(有料)をお受けいただくことをおすすめします。

1

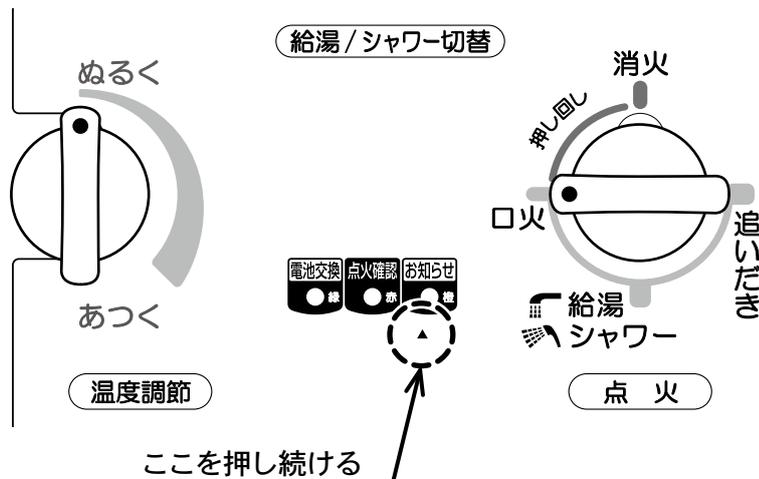
口火点火操作を行い、点火つまみが口火の位置で、お知らせランプが点滅していることを確認する



2

操作パネル(→P.6)の▲をお知らせランプが消灯するまで10秒以上押し続ける

押し続けている間、点火確認ランプとお知らせランプが点灯します。



解除が完了するとお知らせランプが消灯します。



3

点火つまみを押しながら消火の位置まで戻す

点火確認ランプが消灯します。



メモ

- 操作することにより使用期間お知らせサインは解除されますが、約1年経過すると再度使用期間お知らせサインが表示されます。

アフターサービスについて

サービスを依頼される時は

- 「故障かな?と思ったら」(→P.21~23)をご確認ください。それでも直らない場合、あるいはご不明の場合には、お客様ご自身で修理なさらないで、お買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。
- アフターサービスをお申しつけの際は、次のことをお知らせください。
 - (1) 氏名・住所・電話番号・道順(付近の目印等)
 - (2) 品名:(例) GF-655SBB
(ガスの種類:例えば13A)
 - (4) 現象(故障または異常内容などできるだけ詳しく)
 - (5) 訪問ご希望日

保証について

- 取扱説明書の裏表紙が保証書になっています。
- 保証書は、必ず「販売店名・購入日」等の記入をお確かめになり、保証内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- 保証書を紛失されますと、保証期間内であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
- 保証期間経過後の故障修理については、修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料で修理いたします。

転居または機器を移設される場合

- ガスの種類が異なる地域へ転居される場合は、改造・調整の必要があります。お買い上げの販売店、または転居先のガス会社へご相談ください。
- 増改築などのため機器を移設される場合、工事には専門の資格・技術が必要となりますので、必ずお買い上げの販売店、または弊社窓口へご連絡ください。
- 設置場所の選定にあたっては、運転音や振動が大きく伝わらないような場所をお選びください。また、給排気筒トップからの温風や運転音が隣家の迷惑にならないような場所を選ぶなど、ご配慮ください。
- 転居、移設にともなう調整や工事の費用は、保証期間内でも有料となります。

補修用性能部品の保有期間について

- この製品の補修用性能部品(機能維持のために必要な部品)の保有期間は製造打切り後7年です。

長期間使用しない場合

- 長時間使用しない場合は次の操作をしてください。
 - (1) ガス栓を閉じます。
 - (2) 給水元栓を閉じます。
 - (3) 機器の水抜きを行います。(→P.13~14)

アフターサービス等についてわからないときは、お買い上げの販売店、または弊社窓口へお問い合わせください。(弊社窓口は、商品保証書の下段をご参照ください)

既に製品をご購入いただきご利用中のお客様へ

この取扱説明書は、特定保守製品についての説明が下記の理由により削除されています。

法定点検に関する法令改正について

この製品は、消費生活用製品安全法(消安法)により特定保守製品に指定されていましたが、法令の改正が令和3年8月1日にあり、特定保守製品の指定の対象から除外されることになりました。

*お客様のご利用されている製品の特定保守製品ラベルをご覧になり、点検期間の始期が2022年7月以前とされている場合、点検期間中の点検は法定点検の対象となります。

所有者票を返送(またはwebより登録)されているお客様には弊社より法定点検のご案内をさせていただきます。

*点検期間の始期が2022年8月以降とされている場合、法令改正に基づき、法定点検の対象ではなくなります。所有者票を返送(またはwebより登録)されているお客様には弊社より、あんしん点検のご案内をさせていただきます。

〔仕様表〕

項目	内容								
品名	GF-655SBB								
型式名	GF-655SBB								
外形寸法(mm)／質量(kg)	幅230×奥行604×高さ665 / 18								
点火方式	連続放電								
使用水圧	100～500kPa(1.0～5.0kgf/cm ²)								
最低作動水圧	40kPa(0.4kgf/cm ²)								
ガス接続	15A(R1/2)TU接続								
給水	15A(R1/2)オネジ								
循環パイプ	φ45mm(外径):GL140mm-130mmピッチ								
電源	DC3V(単一形アルカリ乾電池×2)								
本体外装	ステンレス鋼板								
給気部／排気部	ステンレス鋼板								
熱交換器	給湯:脱酸銅 ふろ:ステンレス鋼板								
パナ	ステンレス鋼板								
安全装置	<table border="0"> <tr> <td>空だき安全装置</td> <td>過熱防止装置</td> </tr> <tr> <td>立消え安全装置</td> <td>過圧防止安全装置</td> </tr> <tr> <td>冠水検知装置</td> <td>熱湯遮断弁</td> </tr> <tr> <td>異常着火防止装置</td> <td>ふろ/給湯/口火消し忘れタイマー</td> </tr> </table>	空だき安全装置	過熱防止装置	立消え安全装置	過圧防止安全装置	冠水検知装置	熱湯遮断弁	異常着火防止装置	ふろ/給湯/口火消し忘れタイマー
空だき安全装置	過熱防止装置								
立消え安全装置	過圧防止安全装置								
冠水検知装置	熱湯遮断弁								
異常着火防止装置	ふろ/給湯/口火消し忘れタイマー								

〔能力表〕

使用ガス 使用ガスグループ	1時間あたりのガス消費量 kW{kcal/h}		出湯能力(最大時) ℓ/分		沸き上がり時間の目安(浴槽水量:180ℓ) 分			ガス接続	
	給湯	ふろ	水温+25℃ 上昇	水温+40℃ 上昇	春・秋 (15→40℃)	夏 (25→40℃)	冬 (5→40℃)		
都市ガス	13A	14.5{12,500}	9.88{8,500}	6.5	4.1	45	27	62	15A(R1/2)
	12A	13.5{11,600}	9.21{7,900}	6.0	3.8	48	29	67	
L P ガス		14.6{1.04kg/h}	9.88{0.71kg/h}	6.5	4.1	45	27	62	

◎ガス: J I S に規定する標準ガス・標準圧力するとき。

◎出湯能力は、水圧100kPa{1.0kgf/cm²}のとき。

◎本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。

ガスふろがま

商品保証書

品名 GF-655SBB

お買い上げ日	年 月 日	保証期間	1年
お客様	ご芳名	様	
	ご住所		
販売店	店名	電話番号	扱者印
	住所		印

お客様へ

- この保証書をお受取りになるときにお買い上げ日、販売店名、扱者印が記入してあることを確認してください。
 - 本証書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保管してください。
- 上記機器をお買い上げいただきましてありがとうございます。この保証書はおお客様の通常のご使用により万一故障した場合には、本書記載内容で無料修理をお約束するものです。

記

- (1)保証期間は上記品名の機器をお買い上げの日から表記の期間とし機器本体を対象とします。
- (2)万一故障の場合はお買い上げの販売店、または弊社修理受付センターへお申し出ください。原則として出張修理をいたします。なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合、出張に要する実費を申し受けます。
- (3)サービス員が参上したときに本証書をご提示ください。紛失されると有料修理となる場合があります。
- (4)保証期間中でありましても次の場合には有料修理となります。
 - (イ) 当製品の取扱説明書、又は貼付ラベル等のご案内によらないでご使用になり故障した場合。
 - (ロ) 当製品の工事説明書によらないで施工されたり、専門業者以外による修理、移動、改造等を行ったことにより故障した場合。
 - (ハ) 設置環境の経年変化に伴う故障。及び塗装の色褪せ・摩擦等により生ずる機能に影響ない変化。
 - (ニ) 海岸付近・温泉地等の地域における腐食性の空気環境に起因する機能に影響ない変化。
 - (ホ) ねずみ・くも等の生物活動に起因する故障。
 - (ヘ) 住宅用途以外(例えば業務用・船舶・車両上でのご使用)にてご使用された場合の故障。
 - (ト) 火災・地震・洪水・落雷等の天変地異・凍結。又は暴動等の破壊行為による故障。
 - (チ) ガス・給水の供給トラブルによる故障。
 - (リ) 熱量変更、又は移動等に伴う調整・確認作業。
 - (ヌ) 給水配管の錆び等異物混入による故障。
 - (ル) 温泉水・井戸水をご使用になったことによる故障。
 - (ヲ) 水道法に定められた飲料水の基準に適合しない水をご使用になったことによる故障。
 - (ワ) 排水不良等による機器の冠水等に起因する故障。
- (5)本書は、日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- (6)この保証書によって保証書を発行している者、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
- (7)商品や技術のお問い合わせ等はお買い上げの販売店、または弊社お客様相談室へお問い合わせください。

パーパス株式会社

〒417-8505 静岡県富士市西柏原新田201

弊社窓口

修理受付センター(修理受付のみ) TEL 0120-260-884(通話料金無料) 携帯電話からは 03-5682-4545 へおかけください。 受付時間:年中無休 24時間修理受付	点検受付センター(点検のお問い合わせ先) TEL 0120-323-884(通話料金無料) 受付時間:年中無休 9:00 ~ 17:00	お客様相談室(商品や技術のお問い合わせ等) TEL 0545-32-1389 受付 平日 9:00 ~ 19:00 時間 土曜日・日曜日・祝日 9:00 ~ 17:00
--	--	---

ご連絡いただいた個人情報は、弊社規定によりお問い合わせ対応に必要な範囲内で使用します。お問い合わせ内容につきましては、個人を特定できないデータに加工した後、サービス向上等のために利用いたします。